

アミノインデックスを用いた がん検診の結果報告

南部町では、アミノインデックス検査(AICS)を用いたがん検診を平成24年1月から開始し、8月末までの8ヶ月間に当院で465名、町の集団検診(車検診)で443名、計908名の方の結果が判明しましたので、第2報として報告させていただきます。

南部町の傾向

南部町では、胃癌、肺癌で亡くなられる方が多いのですが、第1報同様、当院、集団検診ともにがん発生の危険性が高い「ランクC」の方が胃癌、肺癌に有意に多く認められました(表1)。このことは、南部町の方には胃癌、肺癌になりやすい傾向があり、検診においても特に注意が必要と考えております。

精密検査の結果

当院で「ランクC」の判定が付いた方は133名(29%)で、ほぼ全例に精密検査を行っていたいただきました。

胃

では、胃内視鏡検査をされた70例の方の中に1例の早期胃癌の方が発見され(図1)、無事に治癒手術を行うことができました。また、その後の検査例からも次々に胃癌が発見され、現在4例の早期胃癌が発見されています。鳥取県の平均発見率は25.0例に1例ですので、AICSでは約10倍の確率で発見ができることになり、また胃癌の発生母地となりやすい慢性胃炎が62%と、高率に認められました。

肺

のCT検査では、肺癌は発見されておりませんが、肺癌への移行も考えられる淡い陰影(GGO)が11例、

数ミリ大の結節(肺癌も疑われる)が3例、中皮腫(肺癌)への移行も考えられるアスベスト肺が1例見つかりました。

大

腸の内視鏡検査では、早期大腸癌も疑われる平坦なポリープが2例認められ、1例は内視鏡的に完全に切除し、癌の一步手前の状況で完治されました。前立腺癌、乳癌、子宮・卵巣癌では「ランクC」の方も少なく、がんが疑われる方は見られておりません。

がん検診、精密検査のすすめ

AICS検査で「ランクC」の方では約100人に1人の確率でがんが存在します。今回の集団検診では、「ランクC」が付いた方は178名(40%)と非常に高率でありましたが、現在の調査では、この「ランクC」の方で精密検査を受けられた方は約5割程度と思われます。特に胃癌では「ランクC」の方は107名もおられ、確率的にがんの方が1名以上はおられると

考えられますので、胃癌が「ラ

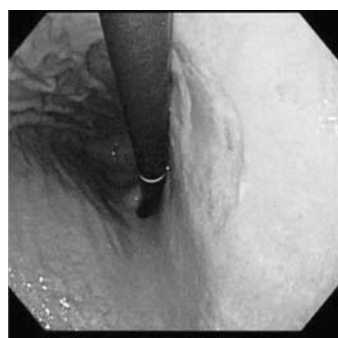
ンクC」で精密検査をまだ受けておられない方は、お早めに胃内視鏡検査をお受け下さい。

また、各地区別の「ランクC」の頻度に大きな差がみられ、現在、原因を検討中です(表1)。

アミノインデックス検査は、がんの存在ならびに今後、その方がどのがんになりやすいかを示すものと考えていますので、「ランクC」の付いた方には十分注意をして、定期的ながん検診を続けて下さい。

また、「ランクA・B」の方にも頻度は低率ですが、がんが存在、発生する可能性がありますので、毎年のがん検診をお受けいただきますようお願い致します。

(西伯病院院長 木村 修)



【図1】早期胃癌 (AICS:9,2)

【表1】各地区別AICS結果(集団検診) 単位:%

地区名	Cランク	内 訳					
		胃 癌	肺 癌	大腸癌	前立腺癌	乳 癌	子宮・卵巣癌
東西町	50	14	25	14	25	8	17
天津	29	14	9	7	17	8	10
大国	49	25	22	11	20	23	11
法勝寺	46	33	15	10	18	18	11
両長田	38	13	21	4	30	7	7
手間	28	17	7	7	9	4	6
賀野	51	40	12	12	19	28	14
全体	40	24	14	9	18	14	11